

## 2 主な事業の概要

### (1) 農政企画課



# 【継続】農業経営セーフティネット総合対策事業費

## 概要

○農業経営セーフティネットのさらなる加入促進に向けて、農業者が加入の必要性をより実感できる啓発資材の開発や、関係機関が連携した現場レベルの取組みを推進

予算額（当初）：3,100千円

事業期間：令和3年度～

## 背景／課題

### 【背景】

- 令和3年度に「農業セーフティネット加入促進協議会」を設置。加入促進に向けた課題や具体策を議論
- 令和4年度には、農業者の理解促進に向けた研修の開催支援や、収入保険の新規加入者に対する保険料助成等を実施

### →【収入保険の加入者数】

対象期間	加入者数	対前年増加数
令和3年	1,640 (17.9%)	586
令和4年	2,292 (25.1%)	652
令和5年	3,008 (32.9%)	716

※（ ）は青色申告に占める割合

### 【課題】

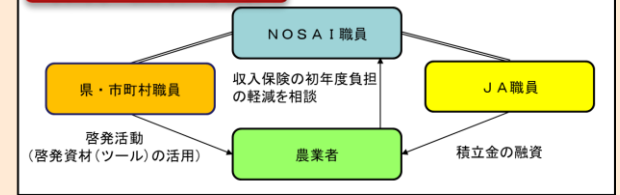
- 令和4年度に実施した保険料助成等により、一定の成果は得られたが、さらなる加入促進には、農業者の経営リスクへの認識や、加入への意識を高めていくことが必要

## 事業内容

### 1 現場レベルでの加入促進に向けた取組み

- 制度の実施主体（NOSAI・JA等）それぞれの取組みに加え、県・市町村や指導的立場の農業者が現場レベルで連携し、加入を促進
- 各地域に設置している地域連絡会議の下に、担当者レベルのタスクチームを結成し、農業者への相談対応を実施

#### タスクチームのイメージ(例)



### 2 制度の必要性をより実感できる啓発資材の開発

- 農業者が自らチェックリスト等で営農形態に応じた経営リスクや予防措置等を簡単に把握することができるツール（デジタルにも対応）を作成し、相談対応にも活用

⇒情報が不足していることにより加入が進まない層や、保険料助成を経てもなお加入が進まない層に対してもきめ細かく対応

#### 啓発資材(ツール)のイメージ

タブレットやスマートフォンにも対応

- リスク把握（例：自然災害）
- 1) チェックリストを活用した災害リスクの把握  
ハザードマップや降霜の常襲地帯の確認等
  - 2) 予防対策の検討  
施設の災害対策、復旧方法等の確認、**セーフティネット制度の加入検討**等
  - 3) 直前の対策  
農業用機械の移動、防風雨対策等
  - 4) 被災後の事業継続の検討  
加入している**制度の補償内容の確認**等



### 3 農業セーフティネット加入促進協議会の運営

- 関係機関が一丸となり、加入促進に係る取組みを推進・評価・検証

## 事業目標

- 青色申告者に占める収入保険の加入割合  
R4（直近）24.7% ⇒ R6（目標）35.0%（全国トップクラス）

## 問い合わせ先

- 担当課：農政企画課 企画担当
- 電話：023-630-2422

# 【新規】さくらんぼを核とした県産フルーツ情報発信事業費

## 概要

○本格デビューを迎える「やまがた紅王」のプロモーションと、「フルーツ・ツーリズム」の目的地となり、情報発信・体験の場となる「フルーツ・ステーション」の創出及びそのネットワーク化に向けた調査検討

予算額（当初）：83,357千円

事業期間：令和5年度～

## 取組方針等

「さくらんぼを核とする県産フルーツの情報発信実行計画」に基づき施策を推進

取組方針と基本的考え方

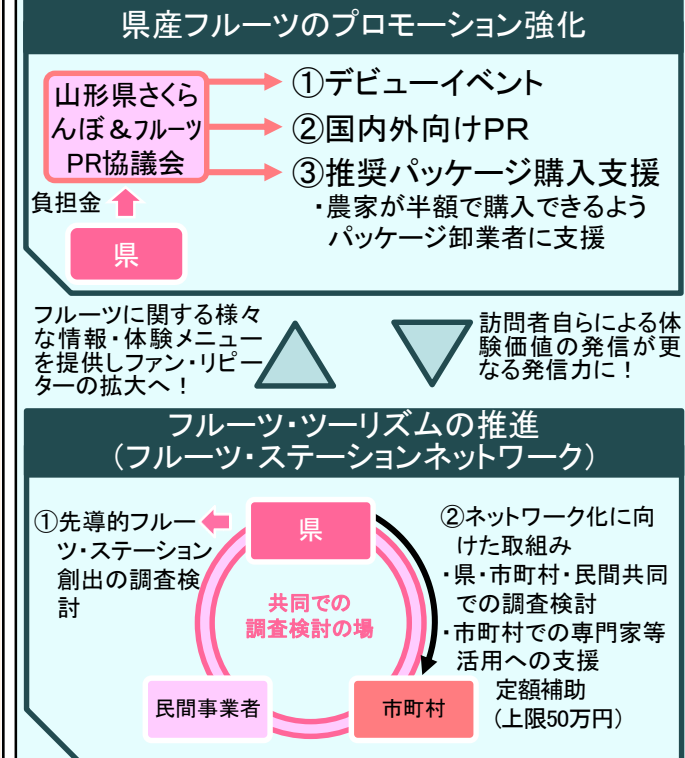
- 山形県産フルーツのプロモーション強化
  - ・R5「やまがた紅王」デビューからR7「さくらんぼ栽培150周年」までの3年間を重点期間と位置付け、イベントやキャンペーンを集中展開
  - ・さくらんぼだけでなく多様な品目を誇る「果樹王国やまがた」としての認知度向上やフルーツの新たな消費文化の創出等につながる取組みの実施
- フルーツ・ツーリズムの推進
  - ・消費者に実際に山形県・フルーツ産地を訪問してもらい、農業体験や旬のフルーツを使ったスイーツなど様々なフルーツの楽しみ方やそれを通じた産地・生産者との交流などを体験する「フルーツ・ツーリズム」を推進
  - ・各産地で「フルーツ・ツーリズム」の目的地となり、特産フルーツの魅力を発信できる場所を充実させ、県内回遊を促進

## 事業内容

- 「やまがた紅王」本格デビュープロモーション
  - 本格デビューイベント
    - 日時：6月6日から30日まで
    - 場所：最上川ふるさと総合公園
    - 内容：さくらんぼの歴史パネル展、大玉コンテスト、流しさくらんぼなど
  - 各種メディア等を活用した国内外向けPR
    - ・都内主要駅での動画放映、YouTube広告、Twitterを活用した認知度向上や、都内商業施設でのPR事業
  - 「やまがた紅王 プレミアム」のブランド化
    - ・県産桐材を使用した推奨パッケージの購入支援
- 「山形県さくらんぼ&フルーツPR協議会」運営
  - ・プロモーションを専門とする外部人材の活用
- 「フルーツ・ステーション」の創出とそのネットワーク化に向けた調査検討
  - 最上川ふるさと総合公園（寒河江市）における官民連携による先導的「フルーツ・ステーション」創出に向けた調査
  - 各地の「フルーツ・ステーション」創出とそのネットワーク化に向けた県・市町村・民間共同での調査検討及び市町村における専門家活用等に対する支援

など

## 事業スキーム



## 問い合わせ先

- 担当課：農政企画課  
フルーツ・ステーション推進担当
- 電話：023-630-2414

# 【一部新規】水田農業再生戦略事業費

## 概要

○米の需給調整や経営所得安定対策等の推進、5～10年後を見据えた産地づくりの検討への支援、政府の「都道府県連携型助成」を活用した転換作物の生産拡大への支援

予算額（当初）：280,445千円

事業期間：平成16年度～

## 背景／課題

- ・国内の主食用米の需要量が年々減少していく中で、水田をフル活用して麦、大豆、飼料作物等の本作化や高収益作物等による魅力的な産地づくりを進める必要がある
- ・このため、各地域における将来を見据えた産地づくりの検討への支援や、主食用米から転換作物へ栽培品目を切り替える農業者等に対して支援を行い、本県水田農業の維持発展を図る

## 事業内容

水田農業の維持発展に向けた地域産地づくりの支援体制【新規】

農産物に対する国内需要の変化や国の支援制度が変更となる中で、本県の水田農業が維持発展できる方策を検討して各地域の産地づくりを支援する

### 【内容】

- ・県や関係団体、農業者代表等で構成するプロジェクト会議を設立して、地域が抱える課題や要望を取りまとめるとともに、地域の課題解決に繋がる選択肢を提案して、産地づくりを支援

転換作物新規拡大支援事業

予算額：7,250千円

### 【支援内容】

主食用米から大豆、飼料用とうもろこし（青刈り、子実用）へ転換する農業者に対して国と県が連携して支援（都道府県連携型助成）

### 【支援単価】

- ・5千円/10a（予算の範囲内で支援）

## 事業スキーム

水田農業の維持発展に向けた地域産地づくりの支援体制

水田活用産地づくり推進プロジェクト会議（仮称）

構成：県、市町村代表、関係団体等  
地域課題への対応、支援内容の検討

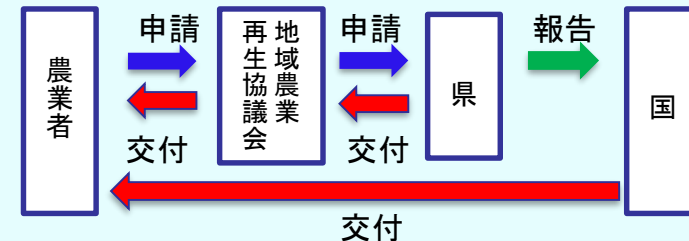
地域の課題・  
要望

経営支援、生産技術、基盤  
技術における選択肢の提示

各地域  
（農業者、地域農業再生議会等）

将来を見据え  
た産地づくり

転換作物新規拡大支援事業



## 事業目標

- ・米の産出額 R3（直近）701億円 ⇒ R6（目標）868億円
- ・大豆「里のほほえみ」「シュウリュウ」の作付面積 R4（直近）2,792ha ⇒ R6（目標）3,500ha
- ・畜産の産出額 R3（直近）392億円 ⇒ R6（目標）423億円

## 問い合わせ先

- 担当課：農政企画課  
米政策推進担当
- 電話：023-630-2304

# 【継続】土地利用型作物競争力強化生産総合対策事業費

## 概要

○土地利用型作物の競争力強化に向けた共同利用施設の整備等への支援、高性能な機械のリース導入、栽培体系の転換等への支援

予算額（当初）：462,400千円

事業期間：平成16年度～

## 背景／課題

- ・農業の国際競争や関税削減等による長期的な影響が懸念される中で、農業者の将来への不安を払拭し、攻めの農業へ転換する必要がある
- ・このため、消費者・実需者の需要に応じて、国産農産物を安定的に生産・供給する産地体制等の構築が必要

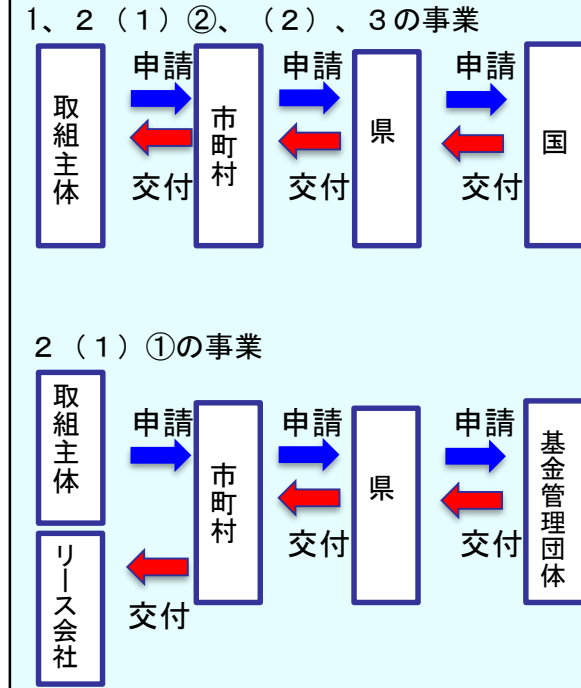
★具体的には、

- ・農産物の高品質、高付加価値化、低コスト化
- ・需要のある麦・大豆へ転換等の取組みを総合的に推進することが必要

## 事業内容

- 強い農業づくり総合支援交付金**  
土地利用型作物の生産性向上等の取組みに必要な共同利用施設の整備を支援 補助率：1/2以内等
- 産地生産基盤パワーアップ事業**
  - 収益性向上対策
    - 生産支援事業（基金事業）  
土地利用型作物において生産コストの低減や生産性向上等に必要な農業機械のリース導入等を支援 補助率：1/2以内等
    - 整備事業（国庫事業）  
土地利用型作物において生産コストの低減や生産性向上等に必要な穀類乾燥調製施設等の整備を支援 補助率：1/2以内等
  - 国産シェア拡大対策（麦・大豆）
    - 麦・大豆機械導入対策  
生産拡大に向けた機械・施設の導入への支援  
補助率：1/2以内（500千円以上50,000千円未満の機械・施設）
    - 麦・大豆生産・加工施設整備対策  
生産拡大に向けた施設整備への支援  
補助率：1/2以内等
- 麦・大豆生産技術向上事業**
  - 生産性向上の推進に必要な経費への支援  
補助率：定額（規模に応じて上限1,000千円～3,000千円）
  - 新たな営農技術等の導入  
補助率：定額（上限10千円/10a）
  - 生産拡大に向けた機械・施設の導入への支援  
補助率：1/2以内（500千円以上50,000千円未満の機械・施設）

## 事業スキーム



## 問い合わせ先

- 事業内容 1, 2 (1)  
 ■担当課：農政企画課 米政策推進担当  
 ■電話：023-630-2304
- 事業内容 2 (2), 3  
 ■担当課：農業技術環境課 作物振興担当  
 ■電話：023-630-2316

## 事業目標

・米の産出額 R3（直近）701億円 ⇒ R6（目標）868億円

